



感染症週報



2026年(令和8年) 第32週 (8/3 ~ 8/9) 定点把握対象疾患について

三宅島 感染症の報告はありません

御蔵島 感染症の報告はありません

(三宅管内感染症発生動向調査より集計)

東京都の注目される定点把握対象疾患 [東京都感染症週報 第31週]

- ・手足口病の定点当たり報告数は5.97で、前週(8.10)より減少ですが、警報レベルが続いています。
 - ・インフルエンザの定点当たり報告数は0.72で、前週(0.33)より増加しています。
- 流行開始の目安となる定点当たりの報告数1.0を、7か所の保健所が超えています。

島しょの情報(11島の医療機関からの報告) [第32週 (8/3 ~ 8/9)]

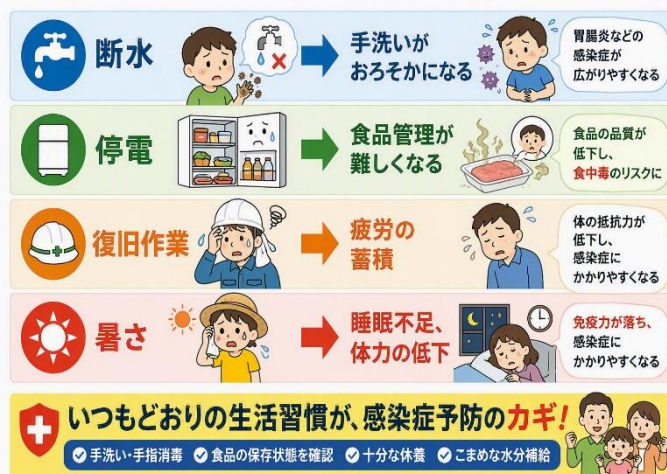
- ・各島の感染状況は、落ち着いています。

NEWS ライフラインの変化と感染症リスク

島内の一部地域で続いていた停電や断水は解消されました。復旧した今、ライフラインと感染症の関係について改めて考えてみたいと思います。ライフラインに支障が生じると、普段は当たり前に行えている衛生管理や健康管理が難しくなり、感染症が発生しやすい環境につながる可能性があります。

また、断水によって手洗いの機会が減ると、胃腸炎などの感染症が広がります。さらに見落とされがちなのが、生活の不便さからくる疲労や睡眠不足です。復旧対応や日常生活の負担が続くと、知らず知らずのうちに体の抵抗力を低下し、感染症にかかりやすくなります。

感染症のリスクは「病原体」だけでなく、「いつもどおりの生活が維持できなくなること」によっても高まります。だからこそ大切なのは特別な対策ではなく、手洗いや手指消毒、食品の適切な管理、十分な休養といった、基本的な生活習慣を意識して続けることです。日々の体調管理と衛生管理を改めて見直してみましょう。



(生成 AI にて作成)



島しょ保健所三宅出張所管内 感染症発生動向調査

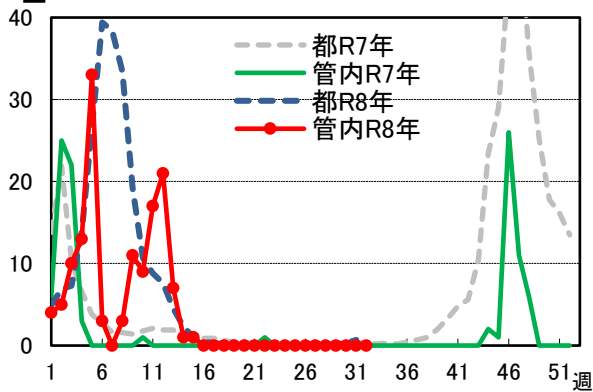
三宅出張所管内 定点把握対象疾患報告数

令和8(2026)年	第 32 週						令和8年 8/3 ~ 8/9	
疾病名 (小児科定点及びインフルエンザ /COVID-19定点)	令和8(2026)年						令和8 (2026)年 累計	東京都 定点あたり 31 週
	27 週	28 週	29 週	30 週	31 週	32週		
RSウイルス感染症							0 (0)	0.43
咽頭結膜熱				1 (0)			1 (0)	0.26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				1 (0)			2 (0)	0.79
感染性胃腸炎							12 (6)	3.79
水 痘							0 (0)	0.29
手 足 口 病							0 (0)	5.97
伝染性紅斑							0 (0)	0.03
突発性発しん							1 (0)	0.31
ヘルパンギーナ							0 (0)	1.53
流行性耳下腺炎					1 (0)		1 (0)	0.03
MCLS(川崎病)							0 (0)	0.01
不明発しん症							0 (0)	0.05
インフルエンザ							138 (22)	0.72
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)							5 (4)	0.41

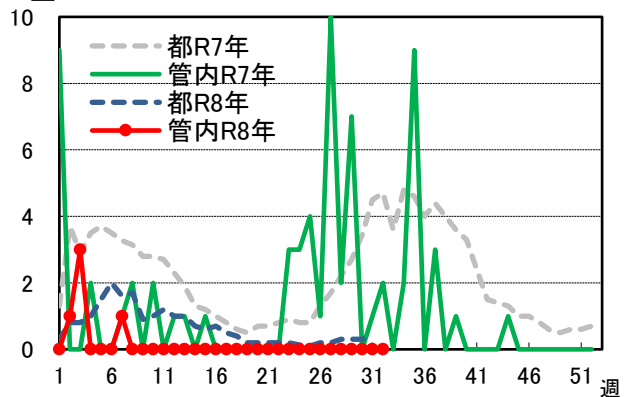
※カッコ内:御蔵島報告数の再掲

【三宅管内】患者報告数推移グラフ(管内とは三宅・御蔵両島の発生数計都は定点あたり発生数)

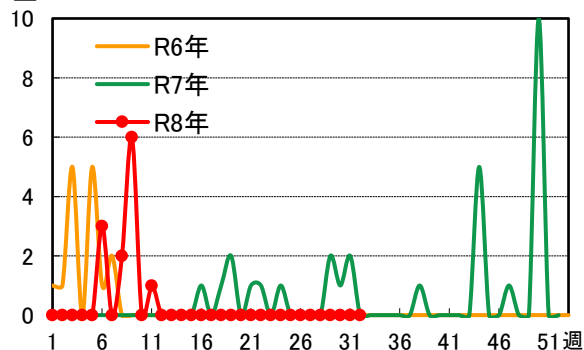
■ インフルエンザ



■ 新型コロナウイルス感染症



■ 感染性胃腸炎



※5類感染症は、感染症発生動向調査を通じ皆さまに情報提供をすることにより、
感染症の発生および、まん延・拡大を防止することが目的です。